

東海・北陸及中国・四国支援・交流中心开始办公

東海・北陸及び中国・四国に支援・交流センターが開所

9月1日这一天，位于爱知县名古屋市内的“东海・北陆中国帰国者支援・交流中心”（简称“东海北陆中心”），以及位于广岛县广岛市内的“中国・四国中国帰国者支援・交流中心”（简称“中四国中心”）正式成立并开始办公。这两个中心是继首都圈中心、近畿中心、九州中心之后的第四、第五个支援・交流中心。东海北陆中心的管辖范围是富山、石川、岐阜、静岡、爱知及福井各县；中四国中心的管辖范围是鸟取、岛根、岡山、广岛、山口、徳島、香川、爱媛及高知各县。

两个中心所开展的是日语学习支援活动（走读学习课程）、咨询、商谈活动及交流活动三项。有关走读课程的具体内容，敬请向上述各中心咨询。（各中心的联络方式，登载于本刊最后一页）

（接下页）



9月1日、愛知県名古屋市に「東海・北陸中国帰国者支援・交流センター」（略称「東海北陸センター」）が、また、広島県広島市に「中国・四国中国帰国者支援・交流センター」（略称「中四国センター」）が新たに開所しました。支援・交流センターとしては首都圏センター、近畿センター、九州センターに続く第4・5番目のセンターとなります。東海北陸センターは富山、石川、岐阜、静岡、愛知、福井の各県を、中四国センターは鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の各県を所管します。

両センターで実施される事業は、日本語学習支援事業（通学学習課程）、相談事業、交流事業の三つです。通学学習課程の詳細等につきましては、それぞれのセンターまでお問い合わせください（各センターの連絡先は、本誌の最終頁に記載してあります）。（次頁に続く）

(接前页)另外,远距离课程及《天天好日》的开办与发行工作,将一如既往地由首都圏中心负责,因此,居住在上述各地区的归国人员,若需要报名参加远距离课程;或是《天天好日》的邮寄地址发生变更,敬请通知首都圏中心。

所长致词

继东京、大阪、福岡各支援・交流中心之后,爱知与广岛的支援・交流中心同时于9月1日正式成立并对外办公了。

本中心的办所宗旨是,在对中国归国者所处的具体情况进行分析 and 应对的同时,争取地方政府及居民的协助,开设符合归国者呼声与需求、并设有不同目标及进度的进修学习班;开展学习商谈及向归国者提供信息的日语学习支援事业与工作;开展与广大归国者疏通情感及意识的交流事业与工作;开展从归国者的角度出发,设身处地为其出谋划策・为其提供援助,最终帮助其走上自立道路的事业与工作。

为了不辜负大家的期望,本中心每一个职员,都将在今后的工作中发挥刻苦钻研的精神,并力争与各位归国者同思共虑,与大家分享每一份快乐。在此,我们恳请大家能对本中心开展的工作给予理解与指导,同时为归国者走向自立而提供一份支援与帮助。

东海・北陆中国帰国者支援・交流中心
所长 近藤 稔



各位归国人员,大家好!

此次,以支援居住在中国・四国地区的归国者为宗旨的“中国・四国中国帰国者支援・交流中心”,在继承以往“广岛县中国帰国者自立研修中心”办所精神的基础上,将所有工作继续委托于我们广岛县社会福祉协议会,并于不久前正式开始办

(前頁より)なお、遠隔学習課程と「天天好日」の発行は今まで通り首都圏センターが担当しますので、これらの地域にお住まいの帰国者の方々でも遠隔学習課程のご応募や「天天好日」の送付先住所の変更等は、首都圏センター宛にお寄せください。

所长あいさつ

このたび、東京、大阪、福岡の各支援・交流センターに次いで、9月1日に広島とともに愛知に開所しました。

センターでは、中国帰国者の方々の状況に対応するとともに、地方公共団体、地域住民の御協力をいただき、帰国者の方のニーズに応えた目的別・進度別の教室開催、学習相談や情報提供などの日本語学習支援事業、多くの方々と意思や感情を伝え合うことの出来る交流事業、親身になった相談・援助事業などに取り組み、帰国者の方の自立を支援してまいりたいと考えております。

皆さんの御期待にそえるよう、職員一同研鑽に努めるとともに、帰国者の方々と共に考え、多くの方々と喜びを共有できる活動に取り組んでまいりますので、センターの活動に御理解、御指導をいただくとともに、帰国者の方々の自立に御支援いただきますようお願い申し上げます。

东海・北陆中国帰国者支援・交流センター
所长 近藤 稔



帰国者の皆さん、こんにちは。
この度、中国・四国地方の帰国者を支援するための「中国・四国中国帰国者支援・交

公。

第二次世界大战已经过去 60 年了，可是围绕着归国者的形势变化以及所面临的问题，却涉及方方面面，且日益复杂化，这不得不叫人担心。

广岛县社会福祉协议会作为本中心之母体，多年来一直从事着当地的福祉工作。今后，我们福祉协议会将利用以往工作中积累起来的经验，为各位归国者在地区性生活中跨越语言及生活习惯等方面的障碍；为完成自身的自立并作为一名居民而为地区尽职尽责；为归国者们实现“活出自己特色”的健康生活而不惜一切地助一臂之力！

我个人于昭和 20 年，在北朝鲜出生，其后随母亲一道撤回了日本。

当然，我是无法体会当时的那种情形的。是母亲在养育我的过程中，给我讲述了那些故事。

此次安排我出任所长职务，让我感到了某种无法言喻的“奇缘”。

在此，我希望各位归国者，别介意事情的大小，只要有事，就敬请来本中心坐坐，我们想听您说说您的烦恼，并为您排忧解难。

中国・四国中国帰国者支援・交流中心

所长 藤 贺 卓



「流センター」が、これまでの「広島県中国帰国者自立研修センター」の流れを汲み、引き続き私共広島県社会福祉協議会に業務委託されることになり、先般開所されました。

戦後60年が経過したにも関わらず、帰国者を取り巻く状況の変化や直面する問題は多岐に渡り、益々複雑になっていると危惧しているところです。

当センターの母体となる社会福祉協議会は、長年地域の福祉問題に携わっています。その経験を活かし、帰国者の皆様が地域の中で、言葉や生活習慣などの壁を越えて、自立し地域住民の一員として自分なりの役割を持ち、「自分らしく」元気に生きていく、その手助けの一助となるよう邁進していきたくと存じます。

私ごとですが、私は昭和20年に現在の北朝鮮で生まれ、その後母親と一緒に日本へ引き揚げたという体験を有しています。

もちろん、私にはその時の状況が分かるはずもありませんが、母親からよく聞かされて育ちました。

この度、この様な関わりを持つことになったというのも、何か不思議な縁を感じています。

どうぞ皆さん、どの様なことでも結構ですから、当センターに気軽に立ち寄って下さい。そして悩みや相談などを含むいろいろなお話ができればと考えています。

中国・四国中国帰国者支援・交流センター

所長 藤 贺 卓